

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		農地流動化事業		グループ・担当名	農業委員会事務局総務担当	
				評価者名	農業委員会事務局長 酒井 祐二	
総合計画	基本目標	00		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	00			項	01 農業費
	施策(中)	00			目	02 農地流動費
	施策(小)	00			大事業	01 農地流動化事業
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	農業委員会の本来業務である認定農業者に対する農地の利用集積は、優良農地の有効利用と多様な担い手の経営発展を側面から支援するものであり、農地流動化に当たっては、農地保有合理化促進事業等の活用に十分配慮するほか、農地流動化と集団化の一体的推進を図るものである。					
事業目的	農地流動化の推進					
事業の対象	町民（担い手農家）及び農用地					
実施結果	【実施結果】 農業経営基盤強化促進法に基づく利用調整活動					
現状と課題	【現状と課題】 担い手（後継者）不足が深刻となっている。今後、離農跡地を引き受けてもらえなくなる可能性も出てくる。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	1,413	1,480	1,975	1,255	1,963	0
国支出金	0	-	0	-	0	-
道支出金	0	-	0	-	0	-
地方債	0	-	0	-	0	-
その他	414	-	214	-	214	-
一般財源	999	1,480	1,761	1,255	1,749	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	1,413	1,480	1,975	1,255	1,963	0

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	農地あっせん活動日数	目標	日		260	260	260	
		実績	日	289	279	348		
		達成率	%		107.31	133.85		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	農業経営基盤強化促進法に基づく事業であり、実施主体は町が妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	目標を上回る活動実績があり、有効である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	経費のその大半が利用調整活動に対しての報償費であり、削減する余地はないと考える。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状のまま実施することが適当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状のまま実施することが適当である。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調査

1. 事業内容

事務事業名		事務局運営事業		グループ・担当名	農業委員会事務局総務担当	
				評価者名	農業委員会事務局長 酒井 祐二	
総合計画	基本目標	00		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	00			項	01 農業費
	施策(中)	00			目	01 農業委員会費
	施策(小)	00			大事業	01 農業委員会運営事務
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	農業委員会は、優良農地の確保、遊休農地の防止及び認定農業者に対する農地の利用集積の促進など農地・担い手対策に取り組んでいる。また、農地法の厳正・的確な推進と多様な担い手に対し諸対策を推進するほか、活動の推進に当たっては、地域農業の実態を十分に踏まえ関係機関との連携強化を図り、今後一層、農業委員会活動に取り組むものとする。					
事業目的	委員会の円滑な運営を補助する					
事業の対象	農業委員会、関係団体					
実施結果	【実施結果】 研修会の参加、負担金の支出、事務補助員の雇用					
現状と課題	【現状と課題】 農業委員の資質向上のため、農地法など関係法令の改正等について研修することは重要である。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	993	1,008	1,017	1,014	992	0
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	993	1,008	1,017	1,014	992	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	993	1,008	1,017	1,014	992	0

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	研修会参加件数	目標	件			7	6	6
		実績	件	7	7	6		
		達成率	%		100	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	農業委員が業務上必要となる知識や情報を研修会を通じて取得することは重要である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	目標どおり達成できたため、有効である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	オホーツク管内で開催される研修会に公用車で参加。旅費などかかる経費を予算計上することなく実施している。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状のまま実施することが適当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 (指標に係る予算計上はない)			予算反映額 (概算)	0千円	現状維持	
今後の改善点								